

ハイレベル・パネル首脳文書 (持続可能な海洋経済のための変革：保護、生産及び繁栄に関するビジョン)

令和2年12月3日
外務省地球環境課

ハイレベル・パネル概要

- 持続可能な海洋経済の構築に向けたハイレベル・パネルは、ノルウェー主導で2018年に立ち上げられた、主要な海洋国家の首脳で構成される会議。ノルウェーとパラオが共同議長。
- ✓ 参加国（14か国）：日本（菅総理）、ノルウェー（ソールベルグ首相）、パラオ（レメンゲサウ大統領）、豪州（モリソン首相）、カナダ（トルドー首相）、チリ（ピニェラ大統領）、フィジー（バイニマラマ首相）、ガーナ（アクフォ＝アド大統領）、インドネシア（ジョコ大統領）、ジャマイカ（ホルネス首相）、ケニア（ケニヤッタ大統領）、メキシコ（オブラドル大統領）、ナミビア（ガインゴブ大統領）、ポルトガル（コスタ首相）

主要コミットメント

- ハイレベル・パネルは、2025年までに持続可能な海洋計画に沿って、国家管轄権内の海洋区域の100%を持続可能な形で管理することにコミット。2030年までに同計画を策定するよう沿岸・海洋国家に呼びかけ。

2030年の達成を呼びかける分野

- 漁業資源を持続可能な水準まで回復。養殖業は持続可能な形で拡大。水産物における廃棄物を最小化。
- 海洋再生可能エネルギーを急速に成長させ、世界の主要なエネルギー源となる道筋を構築。
- 沿岸・海洋の観光業は、生物多様性の保全等を維持し、地域・コミュニティに雇用と資金を提供。
- 海運への投資によって、ゼロ・エミッション及び環境への影響が少ない船舶への移行を加速化。
- 新しい海洋産業へのイノベーション及び投資により、包摂的な経済成長を促進。
- 海底鉱業に関し、科学的知見を踏まえて持続可能性を確保するための知識と規則を整備。
- 野心的な気候アクションによりパリ協定の目標の達成及び海洋の健全性の回復に向けて軌道に乗せる。
- 海洋及び沿岸の生態系は自然に基づく解決策に貢献し、沿岸のインフラ開発における重要な要素。
- 海洋汚染を減少させ、海洋のデッドゾーン（注：無酸素、貧酸素の水域）を最小化。
- 海洋資源への公平なアクセス、利益の公正な分配を通じ、脆弱な人々を損害のリスクから保護。
- 国連海洋科学の10年を通じて、海洋リテラシーを強化。
- 海洋の自然としての資本価値を踏まえて海洋に影響を与える意思決定を実施する。
- 世界規模で共有されているデータは、世界中の持続可能な海洋管理に貢献。
- 持続可能な海洋ファイナンスをアクセス可能にし、持続可能で公平な経済成長を促進。